

CASBEE® 広島

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

(使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)広島二葉の里3丁目新築工事	階数	地上10F
建設地	広島県広島市東区二葉の里3丁目	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	2,972 人
地域区分	6地域	年間使用時間	- 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、物販店、飲食店、等	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2026年1月 予定	評価の実施日	2026年1月5日
敷地面積	10,676 m ²	作成者	久米設計
建築面積	4,426 m ²	確認日	
延床面積	32,446 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 3.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 3.8**

Q1 室内環境 **Q1のスコア = 3.5**

Q2 サービス性能 **Q2のスコア = 4.0**

Q3 室外環境(敷地内) **Q3のスコア = 4.2**

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 4.0**

LR1 エネルギー **LR1のスコア = 4.2**

LR2 資源・マテリアル **LR2のスコア = 4.1**

LR3 敷地外環境 **LR3のスコア = 3.8**

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 4.0

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 4.1	スコア = 3.8	スコア = 3.8
<p>設計の計画上一特段に配慮した事項</p> <p>基準階外周部にメンテナンスバルコニーを設け、日射抑制を図る計画 / 庇による空調負荷の抑制、高効率機器の採用、全熱交換器の全面採用 / 全空調換気機器の集中管理、BEMSによる設備別のエネルギー監視が可能な計画となっている / 節水器具の全面採用 / ライフサイクルCO₂排出率が、一般的な建物(参照値)の50%以下</p>	<p>設計の計画上一特段に配慮した事項</p> <p>空地、日影、緑、舗装種別、設備配置の工夫により、温熱環境に配慮 植栽地に自動灌水設備を設置し、適正な管理を行う計画 / 付置義務台数を大幅に上回る駐車場・駐輪場を計画している。</p>	<p>設計の計画上一特段に配慮した事項</p> <p>高耐久性(B種以上)の配管材を使用 厨房排気ダクトはすべてガルバリウム鋼板を採用 / 主要機器の屋上設置、ゆとりのある屋上スペースを計画、EVIによる機器の搬入が可能、適正なPSを計画、屋上からテナントまでPS内で完結</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される